

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyousho.jp/
e-Mail info@s-koukyousho.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第470号
2021年
10月23日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面・性教育セミナー
・核兵器禁止条約の署名・批准を求める高校生署名



特別給 0.15月削減 ~人事委員会勧告~

Table with 4 columns: 一般職員, 6月期, 12月期, 年間. Rows for 本年度 and 22年度 showing salary details.

Table with 4 columns: 再任用, 6月期, 12月期, 年間. Rows for 本年度 and 22年度 showing salary details.

静岡県人事委員会勧告(要旨)
民間380事業所を实地調査したところ、月例給は民間が公務を58円上回っていたが、差が小さいので月例給改訂なし。特別給は民間が公務を0.13月分下回っていたので、0.15月下げて4.3月とし、今年度12月から引き下げ、来年度は6月と12月に分けて引き下げる。再任用は、0.1月下げて2.25、会計年度任用職員について今年度は改訂なし、来年度から0.15月分引き下げる。

9月24日、静岡県人事委員会が、静岡県知事県議会に勧告を行いました。コロナ禍で奮闘し、必要性和増員が求められる公務労働教育職員に報いることのない残念な内容でした。
コロナ禍で労働者が下がり、格差を自己責任として容認させる新自由主義では豊かな社会は構築できないことが明らかになりました。また、労使交渉によって生計費に落ち着くという前提に立つ「民間準拠」の原則も破綻しています。一層の必要性・重要性が認知された公務員・教職員が安心して働き生活できる条件を率先して構築し、

職員の勤務条件に関する諸課題について(要旨)
1、仕事と生活の調和の実現のために、過度な時間外労働の是正、教職員の多忙の解消、子育て支援及び介護支援の充実、多様な働き方の推進に向けた取り組みを強く要請する。
2、職員の心身の健康の保持・増進のために、高ストレス者が面談を受けやすい環境の整備、相談窓口の利用促進などによる精神疾患の未然防止が必要。
3、障害者の法定雇用率を速やかに達成し、さらなる雇用拡大と相談・支援体制の充実により、障害のある職員が長く定着し活躍できる職場づくりを求める。

民間にも波及させること
で安定した社会を回復する必要があります。
任命権者への改善要請
勧告では、右枠のように「職員の勤務条件等に関する諸課題を指摘し、改善を任命権者に求めています。時間外労働の是正、多忙の解消、子育て・介護

主張

コロナ対応は適切だったか

岸田文雄氏が新首相に就任しましたが、安倍・菅政治との違いはみられません。自公政権は、コロナ対応では「自宅療養」を公然と打ち出すなど、国民のいのちと暮らしを重大な危機にさらしました。貧困と格差を改める姿勢もありません。金権腐敗・国政私物化の疑惑解明にも背を向けています。

声を上げれば変えられる

まもなく行われる総選挙では、このままの政治を続けるのか、新しい政権に私たちの願いを託すのかが問われています。

2票に託す私たちの願い

政治を変えるチャンス

今年、41年ぶりに小学校で少人数学級が前進しました。また、特別支援学校の設置基準の制定や教員免許更新制の廃止も打ち出されました。いずれも私たちの粘り強い運動の結果です。

実現するには、私たちの一票がとて大切で、教職員も選挙運動ができます。文部科学省や教育委員会は、あなたも、教職員が一切の政治活動

禁止されているのは、教職員の立場を利用して現在の教え子やその保護者に投票依頼などを行う「地位利用」だけです。教職員にできる選挙運動は数多くあります。ホームページやブログ、SNSを通じて、特定の政党・候補者への投票を呼びかけることや対話することは自由にできます。

2012年以降、国会に提出した設置基準策定を求める署名は57万余り求められます。

人事評価の

昇給への反映

この勧告をもとに、教育長交渉を行います。多忙と休暇・休業等を取りにくい「要因の分析」と「利用しやすい職場づくり」の対策、休憩時間の確保、余裕のある職場にするための教職員定数の改善、ハラスメントの実態調査と根絶のための対策などを要求します。

初めて特別支援学校

「設置基準」を制定

9月24日、特別支援学校を設置するための「設置基準」を制定し、文科省が公布を通知しました。10年以上にわたるとりくみの力で重い扉を開きました。特別支援学校の児童生徒数は、20年間で16倍に急増したにも関わらず、特別支援学校にだけ設置基準がなく、教室不足を放置しても法令違反にならないことが、自治体が学校新設に積極的に取り組まない原因になっていました。全国で学校の過大化・過密化が進み、教室不足数は全国で3千を超え、教室をカーテンで仕切り2教室にする、図書館や特別教室を普通教室に転用、窓がない倉庫も学習用として活用、教室や廊下で体育の授業、トイレ不足など、差別的状況が全国で起きています。2012年以降、国会に提出した設置基準策定を求める署名は57万余り求められます。

視座

児童アリとキリギリス。夏の間、コッコツ働くアリ、遊んでばかりのキリギリス。冬になり、巣の中で溜め込んだエサを食べるアリ、外でお腹を空かせて凍えて死んでいくキリギリス。勤勉なアリがエライというお話。最近では他の結末、アリがキリギリスを巣の中に招き、一緒に冬を越すというやさしい物語も。また、働きすぎのアリは過労死、その溜め込んだエサをキリギリスがいただくという皮肉な結末も。では、令和版アリとキリギリスを。夏、アリは地道にエサを集めます。キリギリスは、夏を謳歌して、歌と踊りに磨きをかけます。さて冬、巣にこもるアリは困ります。仕事がないと、余暇の楽しみ方がわからないのです。そこで、アリはキリギリスを巣に招きます。キリギリスはアリの歌と踊りで楽しませ、アリはキリギリスにエサを与え、ウィンウィンな冬を過ごすというエンディング。経済学に「比較優位」という用語があります。A国は工業が得意、B国は農業が得意。A国もB国も、工業と農業両方やろうとするより、得意分野に特化して、輸出して、苦手なものを輸入した方が、効率もよしいし、生産量も上がります。苦手なものを人並みにする努力は、得意なものに磨くことと比べて、はるかに非生産的なんだとか。日本の学校では、とかく、キリギリスのアリ化に熱心です。生徒の苦手分野をなんとか人並みにしようとする多大な努力を費やし疲弊しがち。渋柿は渋柿のまま使え、とは武田信玄の言葉。なんとかアリもキリギリスも共存できる方法はないかと模索する日々です。

2021年 性教育セミナー 「障がいのある子どもの こころとからだの学習」



9月4日(日)に、静岡高教組障害児学校部主催の「性教育セミナー」をオンラインで行いました。参加者は29名でした。今年には県内の特別支援学校での3つの実践報告の後、人間と性教育研究協議会障害児・者サークル世話人の日暮(ひぐらし)かをるさんから、包括的セクシュアリティ教育の視点から性教育のあり方についてお話を聞きました。

各学校でのとりくみ

A校の高等部では軽度知的障害の生徒が多く、交際や性交に関心は高いものの、「コンドームをしていれば妊娠しない」「女は男の言うことを聞くべき」などのネット情報を鵜呑みにする傾向がうかがえることが、性教育を始めたことが、性教育を始めるきっかけでした。授業では、妊娠出産子育てに関する知識と共に、命を生み出す性行為の意味、妊娠による生活の変化を具体的に考えさせ、緊急避妊薬や中絶という選択肢もあることを伝えていきます。性に関して相談できる場や雰囲気を作りたいと、性教育を始めた。マツサイジを取り入れて触れ合うことによる「快」を大切にすることを保障する

高等部肢体不自由のC校では、自閉傾向のある女生徒が二次性徴を迎えて戸惑っている様子が見られたので、不安ではなく喜びをもつて身体の成長と向き合ってもらいたいと考え、性教育を始めました。マツサイジを取り入れて触れ合うことによる「快」を大切にすることを保障する

養護教諭が用意した豊富な教材を活かそうと性教育を始めました。女生徒を対象に二次性徴や性交だけでなく、老年期の生活も視野に入れます。生徒から「そうだよね、死ぬんだよね」という発言もあり、青年期以降の生き方を考えさせる必要性を感じています。高等部肢体不自由のC校では、自閉傾向のある女生徒が二次性徴を迎えて戸惑っている様子が見られたので、不安ではなく喜びをもつて身体の成長と向き合ってもらいたいと考え、性教育を始めました。マツサイジを取り入れて触れ合うことによる「快」を大切にすることを保障する

「こころの理解を促す」⑥

5年生おのだ君。2年生の後半から不登校で3,4年次も年間15,3日欠席。こだわりや触覚過敏があり、人に触れられそうになるだけでパニックになる子です。一番激しかった4年生の時は、夜中に毎晩暴れ、彼と父が家の中、母と他の姉弟は車の中で夜を明けました。家の中は穴だらけ、家族が彼の持ち物に触れるとパニックになり、消毒して回ったそうです。

学校では楽しさを伝え、

仲間のなかで育つ

思春期の子どもたちは人の視線に敏感です。教師自身も弱さやずるい面をもっていることをあえて見せることで、自分の思ったことを言っても先生やクラスの誰かは分かってくれる、という

前抜きで載せました、他

全国高校生平和集会 声をあげよう！高校生署名

7月18日、「日本政府は核兵器禁止条約に署名を 声をあげよう！高校生署名」スタート集会をオンラインで開催。そして、8月8日、「全国高校生平和集会」を開催しました。48回目を迎える13都道府県から中・高校生が94名、全体で138名が参加しました。

「被爆者の平均年齢が83歳を越えた今、一人でも多くの被爆者の証言を聞き、その記憶を受け継いでいく必要がある」と基調報告で提起。



広島で被爆者の相談員をしている小林貴子さん(77)が、1歳と7カ月の時、爆心地から28キロのところで被爆し、母親から聞いた当時の悲惨な体験を語り、「平和は与えられるものではない。絶えず人々の営みの中でつくるもの」と訴えました。

吉永小百合さんからもメッセージが寄せられ、全国の高中生たちの活動を報告し合いました。福島では震災と原発事故

久保山愛吉氏追悼 9.23焼津のつどい



弘徳院での墓前祭には約30人が集まり、「原水爆の犠牲者は私を最後に」の久保山さんの言葉をかみしめながら核兵器廃絶の決意を新たに、墓前に白菊と二人が遺した「愛吉すずのバラ」を捧げました。午後からのオンライン集

会では今年3月に87歳で亡くなった第五福竜丸元乗組員大石又七さんの義妹河村恵子さんが「第五福竜丸事件を風化させないで」と講演しました。

姉の信子さんは熱心なリスチャン、乗組員のお見舞いに行き大石又七さんと出会い結婚を決意。反対していた親も理解を示し、ささやかな結婚式を挙げますが見舞金の羨みや放射能への恐怖から「ピカドン」と騒がれ、二人は東京に逃れて、クリーニング店を開業。

静岡からは8月7日の藤枝市平和展「青春の鼓動」に参加した高校生が、4校の書道部、演劇部、吹奏楽部、軽音楽部の発表を紹介し、書、演劇、音楽など多様な形で過去を語り継ぎ平和を表現することの意義を報告しました。

そして「日本政府に核兵器禁止条約の署名批准を求め、高校生署名」に取り組みしようという提案に、決意を新たにしました。高校生が主体となる署名、応援しましょう。

静岡県教育のつどい

2021年11月20日(土)
静岡県教育会館

9:00 ~ 12:00 5つの共育分科会
13:15 ~ 15:00

映画
「あこがれの空の下
~教科書のない小学校の1年~」

15:10 ~ 16:30
記念講演 北山ひと美さん
(和光小学校校長)

参加申し込みは、静岡高教組へ